
ウルトラマン

にーとん

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ウツトラマン

【Nコード】

N4258F

【作者名】

にーとん

【あらすじ】

ウルトラマンと聞いて思いつくのはウルトラビームとデユワッ！だけ。そんな作者がうつなウルトラマンを書いてみました。世界観を壊すかもしれないのでウルトラマンシリーズに詳しくない方におすすめです。

「あ、三分経った。じゃあね。」

「ちょ、おい？待てや。だいたいなんで日本語しゃべってんの。」

「日本語？どうでもいいじゃんそんなの。だいたい三分しか登場しないんだからその間くらい何してても良いでしょ。」

「いやいや、何お前、実はウルトラマンじゃないな？」

「．．．そんなのどうでもいいじゃん。ちょっと聞いてくれよ、こないだなんて上司がさ、けんか売ってきやがって、ビームうつたんだけど跳ね返されたんだぜ？」

「いや、上司にビームうつな！てか上司なんていたのか？」

「しらね、どうでもええやろそんなの。」

「なんで関西弁！？そして言い出したのはお前だからな？」

「はあ．．．俺、死のうかな。」

「待てよ、お前が居なくなったら世界の平和はないんだぜ？」

「だいたいさ．．．なんで勇者のいくところにはモンスターとか妖怪とか怪物が居るんだよ、勇者が呼んでんじゃねえの？」

「何の話だよ．．．」

「なあ山田あ、俺をここで殺してくれよ。」

「いや、俺山田なんて名前じゃないし、作者が勝手に想像した本家の方にはないような日本語しゃべる怪物だから。てか、名前無いか山田で良いか。」

「じゃあ山田、殺してくれよ。」

「でもお前が居ないと世界の平和は無いつて言ってるだろ？」

「でもその方が怪物のお前の方が楽じゃないか。こんな世界なんて守ってやる必要ないんだよ。」

「でもよ、そしたらまた俺らの仕事が増えるんだぜ？」

「でも俺と一対一で戦うよりはいいんじゃないか？」

「いや、そうだけだよ．．．ていうかお前と戦っている怪物たちは

実は自殺願望者だったりするんだぜ？」

「あつそ。」

「ああ、『死にたくなったらウルトラマン』っていう言葉がある位だし。」

「じゃあ俺、安楽死の業界に・・・」

「じゃあ俺を殺してくれよ。さあ、ビームをうつてくれ！」

「いや、それも面倒だ。だいたい、そしたら俺はどうやって死ねば良い？」

「確かにそうだな。はあ、考えるのも面倒だ。」

「ああ、二人同時に攻撃すればいいんだ。」

「なるほどな。」

「でも面倒だ。」

「どうしようか山田。」

「なあ、俺らつてすごく無駄な時間を過ごしてないか？」

「そうだな。ん、なんかやる気がむらむらと沸き起こってきたぞ？」

「むらむらっていうのは間違いな気がするが俺もだ。」

「・・・そういえばもう三分経ってんだった。」

「じゃあな。」

「じゃあな。」

く帰宅後

「俺ら何がしたかったんだろう？」

（後書き）

・
・
・なんかごめんなさい。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4258f/>

ウツトラマン

2010年10月28日04時34分発行